

第34回社会福祉士国家試験の合格基準及び正答について

1 合格基準

次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

- (1) ア 総得点150点に対し、得点105点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

イ 試験科目の一部免除を受けた受験者

（社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第5条の2）

総得点67点に対し、得点47点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

- (2) (1) のア又はイを満たした者のうち、(1) のアに該当する者にあつては①から⑱の18科目群、イに該当する者にあつては⑫から⑱の7科目群すべてにおいて得点があつた者。

- ①人体の構造と機能及び疾病 ②心理学理論と心理的支援 ③社会理論と社会システム
④現代社会と福祉 ⑤地域福祉の理論と方法 ⑥福祉行財政と福祉計画 ⑦社会保障
⑧障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑨低所得者に対する支援と生活保護制度
⑩保健医療サービス ⑪権利擁護と成年後見制度 ⑫社会調査の基礎 ⑬相談援助の基盤と専門職
⑭相談援助の理論と方法 ⑮福祉サービスの組織と経営 ⑯高齢者に対する支援と介護保険制度
⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 ⑱就労支援サービス、更生保護制度

2 正答

【社会福祉士・精神保健福祉士共通科目】

人体の構造と機能及び疾病

問題番号	1	2	3	4	5	6	7
正答	1,2	3	2	5	4	2	4

心理学理論と心理的支援

問題番号	8	9	10	11	12	13	14
正答	2	5	4	5	3	4	1

社会理論と社会システム

問題番号	15	16	17	18	19	20	21
正答	2	1	5	2	4	3	3

現代社会と福祉

問題番号	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
正答	4	2	2	3	3	3,4	1	1	4	5

地域福祉の理論と方法

問題番号	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
正答	3	2	2	1,4	5	1	4	5	1,3	3

福祉行財政と福祉計画

問題番号	42	43	44	45	46	47	48
正答	1	5	1	3	2	5	3

社会保障

問題番号	49	50	51	52	53	54	55
正答	3	4	1	5	3	2	5

障害者に対する支援と障害者自立支援制度

問題番号	56	57	58	59	60	61	62
正答	2	4	1	5	3	2	1

低所得者に対する支援と生活保護制度

問題番号	63	64	65	66	67	68	69
正答	3	5	5	4	1	5	2

保健医療サービス

問題番号	70	71	72	73	74	75	76
正答	3	5	5	2	1	2	4

権利擁護と成年後見制度

問題番号	77	78	79	80	81	82	83
正答	5	4	3	4	2	1	4

【専門科目】

社会調査の基礎

問題番号	84	85	86	87	88	89	90
正答	4	4	1	5	5	2	3

相談援助の基盤と専門職

問題番号	91	92	93	94	95	96	97
正答	4	1	3	5	4	1	2,4

相談援助の理論と方法

問題番号	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108
正答	1,3	1	4	2	2	3,5	2,3	1	4	1	4
問題番号	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	
正答	2,3	1	5	5	2,5	4	5	1	3,4	1,3	

福祉サービスの組織と経営

問題番号	119	120	121	122	123	124	125
正答	4	2	5	3	1	3	1

高齢者に対する支援と介護保険制度

問題番号	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135
正答	2	2	2,5	1,5	3	2	2,4	3	1	3

児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題番号	136	137	138	139	140	141	142
正答	2,3	4	3	1,5	1	2	5

就労支援サービス

問題番号	143	144	145	146
正答	2	2	1	4

更生保護制度

問題番号	147	148	149	150
正答	1	5	4	3

第34回社会福祉士国家試験における正答の取扱いについて

午前 問題1

問題1 加齢に伴う身体の変化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 肺の残気量が増加する。
- 2 拡張期血圧が低下する。
- 3 聴力は低音域から低下する。
- 4 下部食道括約筋の収縮力が増強する。
- 5 膀胱容量が増大する。

採点上の取扱い

選択肢1及び選択肢2を正答とする。

理由

正しいものを問う問題として、複数の選択肢が正答となるため。